



たったひとりの世界では、  
自分は見えない。  
道草をしながらふたりで  
歩く散歩は、この世界とつな  
がり、相手の瞳に自分を映し  
出す時間。  
こんな時間をすべての人が  
持つことができれば、わたし  
たちはもっともっと優しくな  
れるだろう。

瀧瀬あや(映画監督)

## はみ出していく。 よし、はみ出していこう。

暮らしの場所を限られてきた人たちがいる。自閉症と重度の知的障害があり、自傷・他害といった行動障害がある人。世間との間に線を引かれ、困いの内へと隔てられた。そんな世界の閉塞を、軽やかなステップが突き破る。東京の街角で、介護者付きのひとり暮らしを送る人たち。タンポポの綿毛をとばしブランコに揺られ、季節を闊歩する。介護者とのせめぎ合いはユーモラスで、時にシリアスだ。叫び、振り下ろされる拳に伝え難い思いがにじむ。関わることはしんどい。けど、関わりなくなることで私たちは縮む。だから人はまた、人に近づいていく。

ひとはさびし、ふたりで歩く。  
雨は降る、陽は輝く。人は泣き笑う。



### <知的障害者の暮らしとは？>

知的障害がある人の暮らしの場は広がってきていますが「重度」とされる人の多くは未だ入所施設や病院、親元で暮らしているのが実情です。

2014年に重度訪問介護制度の対象が拡大され、重度の知的・精神障害者もヘルパー付きのひとり暮らしが出来る可能性は大きく広がりました。

そんな中、16年夏には相模原障害者殺傷事件が起きました。この街で誰もがともにあるために、新しい選択肢を見つめてみませんか？



2018年/95分/16:9/カラー/日本

監督・撮影・編集: 宍戸大裕 / 音楽: 末森樹 永原元 / 音響構成・整音: 米山靖 / 宣伝デザイン: 林よしえ / 宣伝イラスト: 木下ようすけ / 題字: 岡部亮佑

特別協力: 全国自立生活センター協議会 / 助成: 公益財団法人 キリン福祉財団 / 企画・製作: 映画「道草」製作委員会

お問合せ: 映画「道草」上映委員会 Tel: 080-3457-8833 FAX: 087-883-6570 info@michikusa-movie.com <http://michikusa-movie.com/>